


# STOP！ 転倒災害

## 6月は転倒災害防止強調月間

～ 全国安全週間準備期間中にチェックリストを活用しましょう ～ 

## 京都労働局・労働基準監督署

京都府内の平成30年の休業4日以上死傷者数(以下「死傷者数」という。)は、2,478人と前年と比較して2.0%増加しました。

「転倒」を原因とする死傷者数については、全産業で492人(前年比3.3%減)、小売業76人(前年比1.3%減)と昨年より減少した業種もありますが、製造業102人(前年比17.2%増)、社会福祉施設52人(前年比6.1%増)では前年より増加しています。

6月は、全国安全週間準備期間中であることから、「転倒災害防止のためのチェックシート」(裏面)を活用し、「転倒災害防止対策」を各職場で取り組みましょう！！

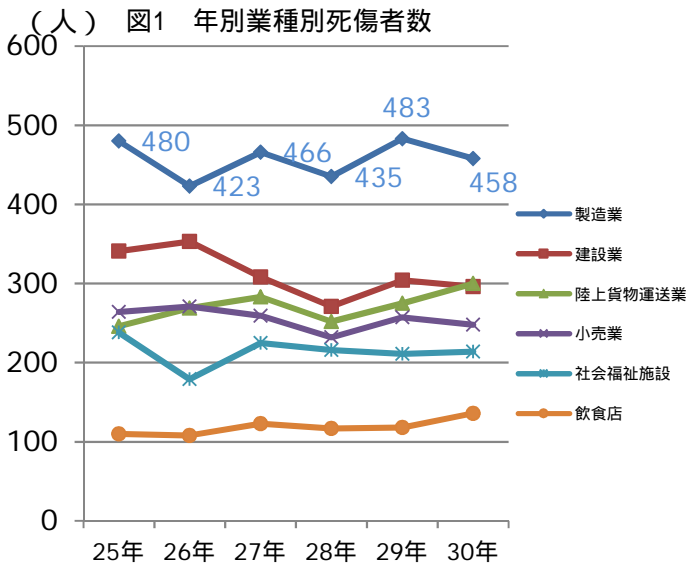
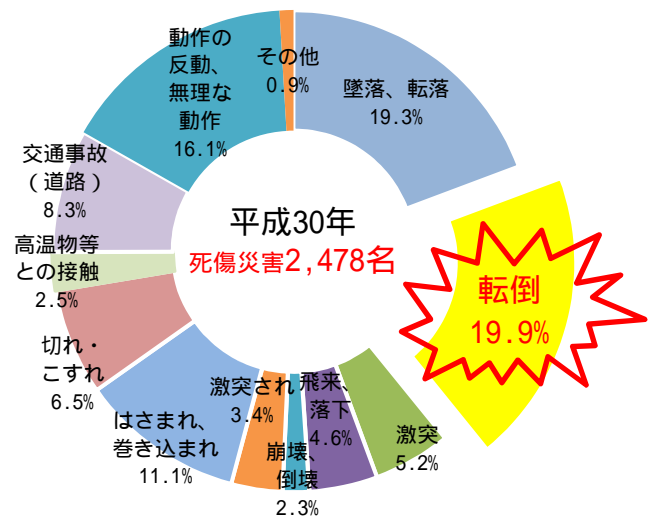


図2 平成30年事故の型別死傷災害発生状況



### ポイント 1

死傷者数が前年より、2.0%増加し、陸上貨物運送業と飲食店で前年より大幅に増加

### ポイント 2

死傷災害の事故の型別では「転倒」が最も多く発生し、全体の約20%を占めている。

図3 平成30年休業期間別死傷災害発生状況

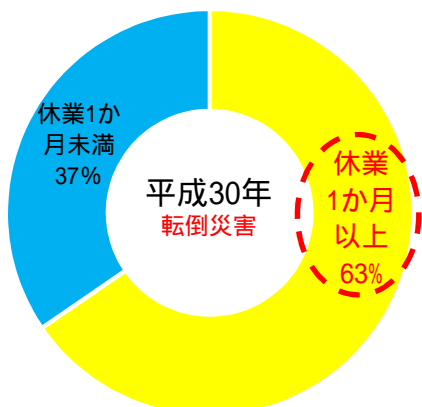


図4 平成30年業種別転倒災害発生状況



### ポイント 3

転倒災害でも、休業期間が長期におよぶこともある。

## 転倒災害防止対策のポイント

### 設備管理面の対策 4S (整理・整頓・清掃・清潔)

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ (水、油、粉等) を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。

### 転倒しにくい作業方法 あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない

#### <靴選びの3つのポイント>

- 防滑性: 靴底が滑りにくいこと  
(やわらかいゴム底のものはゴムのすり減りも要確認)
  - 撥水性・防水性: 水分が靴の中に入り込まないこと
  - 保温性: 靴の中を温かく保てること
- このほかにも、靴の重量やバランス・屈曲性・つま先の高さもポイント

### その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起

## 転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート



チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ (照度) が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

## 好事例はありませんか

京都労働局では、各社で取り組まれている転倒災害防止対策の具体的な事例について、ホームページに掲載する等により周知を行い、管内の転倒災害防止対策の推進を図りたいと考えております。

詳しくは、京都労働局のホームページを参照ください。

京都労働局 転倒災害 [検索](#)

ご協力をお願いします。



見える化ステッカー